

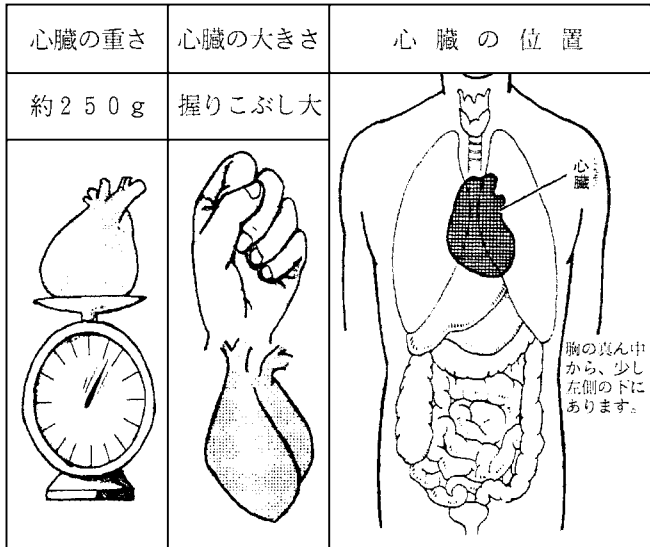
からだの科学

仕組とはたらきを字ぼつ V

ドッキンドッキン一日も休まず働いている心臓。今回は、生命の源「心臓」のお話です。

1 これがあなたの心臓です

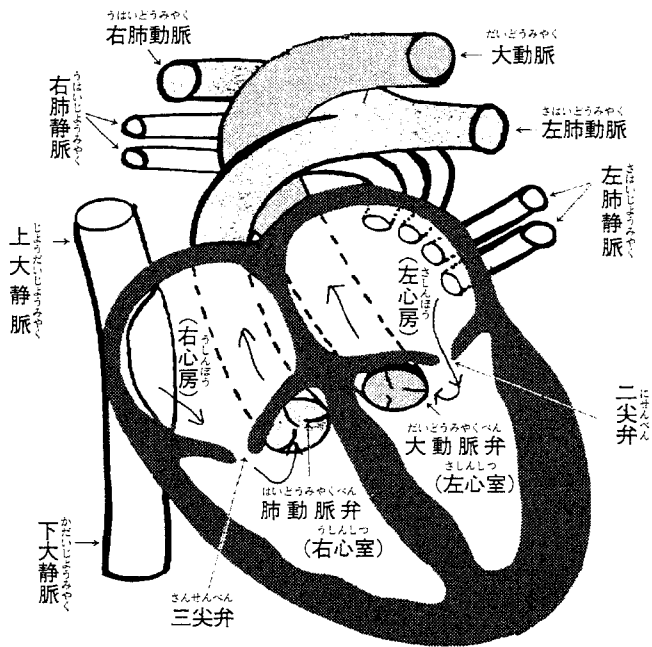
心臓の構造：心臓は心筋と呼ばれる厚い筋肉で、四つの部屋（右心房、右心室、左心房、左心室）に分かれています。左右の心房と心室の間、心室と大動脈、肺動脈の間には、逆流しないように、弁があります。心臓全体は、心のうという袋に包まれています。



2 心臓の役割

心臓は、体中に血液を送り出すポンプの働きをしています。一本は肺動脈を通して肺へ、もう一本は大動脈から体中へ血液を送っています。

心臓の歩調をとる仕組み
心筋は、手や足などの筋肉と違い、意志とは関係なく一定のリズムで動いています。例えば、脳から心臓にはいる神経を切断したり体外へ取り出したりしても、心臓はしばらく動き続けます。



それは心臓が自動的に拍動を繰り返すような電気信号を、自発的に起こし、心臓全体に伝わっていくからです。このどこかが切断したりすると、「不整脈」などが起こります。

心臓の拍動
拍動とは、心臓が一回に収縮したりゆるんだりすることをいいます。ふつう一脈を打つといわれていることです。
☆どうきのはなし
心臓の鼓動を自覚したらそれは「どうき」です。

脈拍の数え方

1日10万回!
1,2,3...



左手の親指側の骨、橈骨にある動脈に、右手の人さし指、中指、薬指の3本の指を軽くあてます

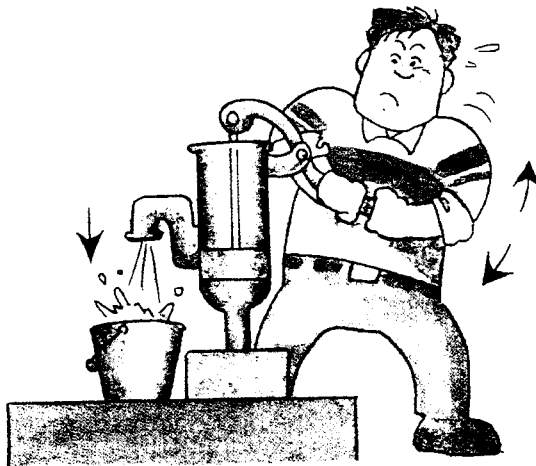


健康な人の脈拍数

年代	脈拍数(1分間につき)
新生児	130~150
乳児	110~130
幼児	80~115
学童	70~90
成人	50~70

(年齢やその人の体力によって異なります)

〔心臓をポンプにたとえると〕



心臓をポンプとすると、血管は管に、血液は水に相当します。ポンプを動かすと水圧が生じ、水が噴き出すように、心臓の働きで血圧が生じ、血液が流れます

脈拍が多いため、脈拍数は多くないが拍動が強いため、不整脈のためなどに感じます。
運動後や緊張した時のどうき、

自分で納得できるどうきは安心。胸痛や息苦しさをとめない、自分で説明できないどうきは危険！
心配などうきです。